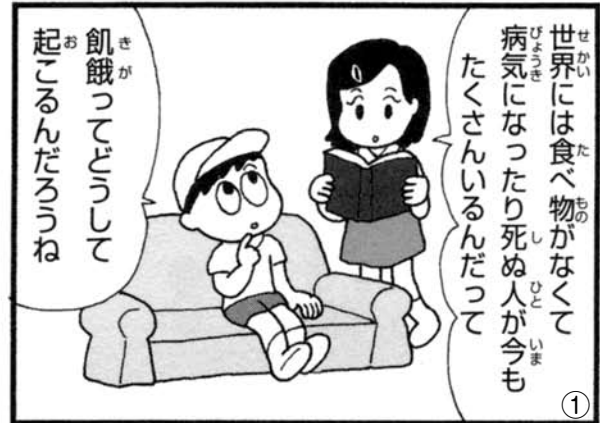


飢餓が起こる世界の仕組み

その1

世界で起こる飢餓には、さまざまな原因があります。

その主な原因の一つ:アグリビジネスとは (工業先進国で売れる農作物を、開発途上国で作らせる)



飢餓が起こる世界の仕組み

みなはその収穫物を、
売って暮らせば前より豊かに
なれると思っただんだ

上手にやっつて
成功した人も中には、いる
でも多くは逆だった

⑬

そのころ貧しかった国々は
ヨーロッパやアメリカなど
先進国に売るための
作物を作るよう勧められた

たとえば

⑩

ほんの少しだけの土地を
家族の食物用に残したけれど
少ない土地で何度も耕して
土地はだんだん荒れていった

⑭

コーヒーや砂糖、
パイナップルや綿花など
ひとつの作物を
国全体で
いっばい
作るよう
になった

⑩

豊かになると思って植えた
輸出用の作物は
思ったほどは高く買っては
もらえなかった

⑮

あちこちに
同じ輸出作物の畑を作った

外国の銀行もそれを応援して
お金を貸す国に
貸してくれることになった

⑪

先進国の農業のやり方では
高価な種や化学肥料を
買わなければならなかった
銀行や国の支援で
お金を借りて、

農民たちの借金は
どんどん増えていった

⑯

それは、それまで
家族が食べるための農作物を
植えていた土地に作られた

⑫

飢餓が起こる世界の仕組み

